入学者選抜の基本方針

【知識・技能】
（1）リハビリテーション領域を理解できる基礎能力を有し、継続した学修習慣を身につけることができる人
（2）本学入学までに修得した知識や技能をもとに、受け身の学修だけでなく能動的な学修にも取り組める人

【思考力・判断力・表現力】
（1）先入観にとらわれず、物事について論理的に考え、行動できる人
（2）他者を理解し、協働するために必要なコミュニケーション能力を有する人
（3）自分の意見を正しく表現でき、他者を尊重できる人

【主体性・協働性】
（1）リハビリテーション関連職種を目指す探求心を持ち、主体的に学ぶ意欲のある人
（2）人への関心が高く、他者と協働しながら地域社会に貢献したいという強い意志のある人

①　総合型選抜

受講型総合試験や基礎能力試験では、基礎的な学力からリハビリテーション関連職種になるための論理的思考力や知識、技能を評価します。志望理由書やレポート、自己アピールシートでは、リハビリテーション関連職種になるための基礎知識、学ぶ意欲を確認し、プレゼンテーションや面接を通して他者との協働性、コミュニケーション能力、将来展望や自己表現力を評価します。
調査書や資格・検定では、学習成績の他に意欲的に取り組んだ活動やその実績、取得した資格等を重視するために点数化して加点し、主体性や協働性も評価します。

②　学校推薦型選抜

面接では、口頭試問において論理的思考力を確認し、推薦書や志望理由書等から他者との協働性やコミュニケーション能力、学修意欲、将来展望や自己表現力を評価します。調査書や資格・検定では、学習成績の他に意欲的に取り組んだ活動やその実績、取得した資格等を重視するために点数化して加点し、主体性や協働性も評価します。

③　一般選抜

学科試験や大学入学共通テストにおいて、リハビリテーション関連職種になるための学修に対応できる学力と総合的な基礎学力から、知識や技能を総合的に評価します。また、一部、記述式問題では、論理的思考力、文章構成力を評価します。特定の教科・科目に限定されない論文総合においては、総合的な読解力、論理的思考力、文章構成力、表現力を評価します。調査書や資格・検定では、学習成績の他に意欲的に取り組んだ活動やその実績、取得した資格等を重視するために点数化して加点し、主体性や協働性も評価します。志望理由書では、リハビリテーション関連職種になるための論理的思考力や主体性、知的探求心を評価します。

入学者選抜の基本方針

④　社会人選抜・編入学選抜

小論文では、総合的な読解力、論理的思考力、文章構成力、表現力を評価します。面接では、志望理由書に基づき、職業経験や社会活動、様々な領域の学業を通じて、リハビリテーション関連職種になるための学ぶ意欲やコミュニケーション能力、将来展望や自己表現力を評価します。

■　高等学校等で修得しておくことが望ましい内容

高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科、科目を修得していることが望まれます。リハビリテーション学の理論と技能を修得するうえで、次のような基礎学力を有していることが望まれます。

「国語」：論理的に思考し、表現するために必要な文章力と読解力
「数学」：論理的かつ数量的に物事を考える数学的思考力、表現力、総合力
「英語」：基礎的な理解力、読解力、コミュニケーション力、表現力
「理科（生物・物理)」：自然や人体に関する問題を科学的に理解する基礎知識
「資格・検定」：各種英語検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定の資格取得

■　調査書への記載について

高等学校等において学業以外の活動内容を評価するため、調査書に「取得した資格や各種大会の記録、生徒会活動、部活動、表彰や顕彰、社会貢献活動、海外留学経験等」、自主的、主体的に行った活動についての記載があれば、入試方式ごとに定める基準によって加点対象とします。